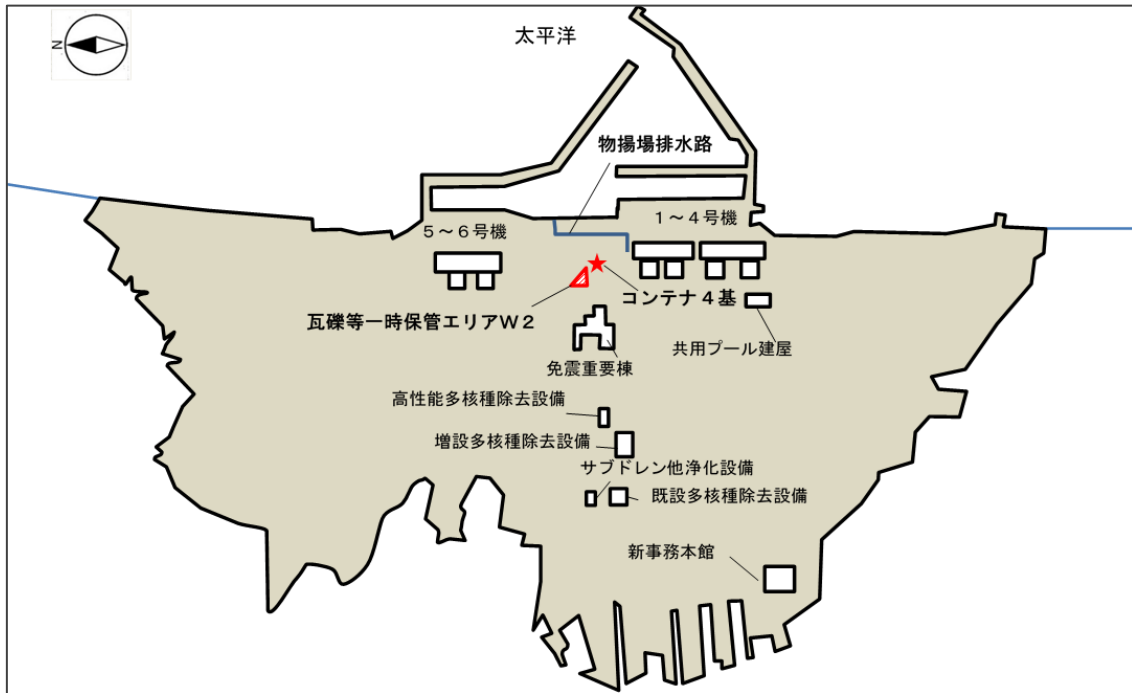


## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日  
令和3年4月5日（月）
- 2 確認箇所  
瓦礫等一時保管エリアW2
- 3 確認項目  
物揚場排水路の簡易放射線検知器における「高警報」発生に伴う原因調査
- 4 確認結果の概要  
3月2日、物揚場排水路に設置されている簡易放射線検知器（以下、「P S F モニタ」という。）において「高警報」が発生し、全ベータ放射能が高い（全ベータ放射能：890Bq/L）排水が観測された事象について、東京電力が当該排水路の流域を調査したところ、3月22日に瓦礫等一時保管エリアW2で放射線量率が高いゲル状物質が確認された。3月24日にゲル状物質の回収等が実施され、その後、当該エリアのアスファルトの剥ぎ取り作業が計画されていたことから状況を確認した。また、当該エリア付近に保管され、ガンマ線の線量率が高いコンテナ4基の現況についても確認した。（前回確認：[令和3年3月29日](#)）（図1）
  - ・現場確認時、当該エリアのアスファルト剥ぎ取り作業は実施されていなかったが、当該エリアの排水溝には放射性物質を吸着する吸着材が新たに設置されていた。（写真1）
  - ・当該エリア付近に保管されていたコンテナ4基については、周囲の清掃が実施され、コンテナ周囲には土のうが設置されていた。（写真2）
  - ・東京電力によると、当該コンテナ4基については、今後、内容物の確認や運搬が可能であるかどうか確認した上で屋内の保管施設へ移送する予定とのことである。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)  
瓦礫等一時保管エリアW2  
(北東側から撮影)



(写真1-2)  
排水溝に設置された放射性物質を  
吸着する吸着材



(写真2-1)  
当該エリア付近に保管されている  
コンテナ4基周囲の状況  
(令和3年3月29日撮影)



(写真2-2)  
当該エリア付近に保管されている  
コンテナ4基周囲の状況  
(令和3年4月5日撮影)

- 5 プラント関連パラメータ等確認  
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。